

県教育委員会における主な高大連携の取組状況（平成24年度）

あいち理数教育推進事業

1 事業の目的

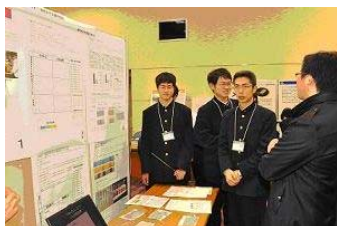
これまで各学校で進めてきた理数教育に関する優れた取組を全校に普及するとともに、高大連携の充実を図ることにより、本県の理数教育の一層の発展と科学技術創造立国を目指す我が国を支える優れた人材の育成を目指す。

2 事業内容

(1) あいち科学技術教育推進協議会（平成21年度～）

本事業における中核的な役割を担う組織として、理数教育に力を入れている県内の高校が中心となって、科学技術に関する教育活動の情報交換や研究協議を行う。

- ・幹事会（岡崎・一宮・時習館・明和・刈谷高校、年間2回開催）
- ・協議会議（参加高校24校、年間2回開催）
- ・発表会（「科学三昧inあいち2012」平成24年12月26日（水）開催 約630名参加
場所：自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター
参加者：大学関係者（約70名） 生徒（約420名） 高校教員（約140名）



(2) 高大連携連絡会議（平成22年度～）

部会別に開催（普通科、農業科、工業科、商業科、家庭科等）

- ・普通科（外国語）部会 「外国語（英語）教育における高大連携」
平成25年1月実施、外国語関係学科及びコース設置校9校と外国語学部設置4大学が出席
- ・農業部会 「大学と農業高校の連携について」
平成25年1月実施、農業科等設置校10校と県内関係6大学が出席
- ・工業部会 「大学と工業高校の連携について」
平成25年2月実施予定、工業科等設置校5校と県内関係6大学が出席
- ・商業部会 「地域振興のスペシャリストの育成について」「会計のスペシャリストの育成について」「情報のスペシャリストの育成について」
平成24年12月及び平成25年1月実施、商業学科等設置校12校と関係9大学が出席

平成25年1月31日(木)
大学と県教育委員会との
連携推進会議資料

- ・家庭・福祉部会 「大学と家庭科の連携について」「大学と福祉科の連携について」
平成25年1月及び2月実施予定、家庭・福祉科等設置校15校と家庭科関係4大学並びに福祉科関係3大学が出席

(3) 知の探究講座(平成16年度～)

- ・開講講座
名古屋大学「数学とはどんな学問なのだろうか」(36名参加)
愛知教育大学「生物多様性と地球と宇宙の探究」(30名参加)
名古屋工業大学「未来を創るマテリアル科学と工学技術」(24名参加)
豊田工業大学「モノづくりの科学」(10名参加)
愛知県立大学「情報化社会を生きる」(30名参加)
豊橋技術科学大学「次世代ロボット創出プロジェクト」(9名参加)
- ・講座実施回数：全講座8～9回
(全体発表会(平成25年1月12日(土)実施)を含む。)

(4) 科学の甲子園(平成23年度～)

全国の科学好きの生徒が競い合う場を構築することにより、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目指す。

【平成23年度の結果】

岡崎高校が全国大会第3位

【平成24年度の予定】

愛知県代表チーム選考会(「あいち科学の甲子園」)

- ・トライアルステージ(平成24年11月4日(日)実施)
筆記問題による選考により6チーム選出
- ・グランプリステージ(平成25年1月26日(土)実施予定)
実験・観察、工作等による選考で代表1チーム選出
審査等を大学等関係者に依頼

全国大会

- ・平成25年3月23日(土)～25日(月) 兵庫県において開催
- ・都道府県代表校による筆記問題、実験・観察、工作等による学校対抗